

■専門審査員(50音順)

銀粉蝶(俳優)

1980年代初頭、劇作家・演出家の生田萬と共に劇団『ブリキの自発団』を創立。演技派女優として数多くの舞台・TVドラマ・映画に出演。2010年、二兎社公演『かたりの椅子』(作・演出:永井愛)、『ガラスの葉』(演出:白井晃)で、第18回読売演劇大賞 優秀女優賞を受賞。近年の主な出演作に、【映画】『あのこは貴族』(21)、『哀愁しんでれら』(21)、『ねことじいちゃん』(19)、【ドラマ】NHK連続テレビ小説『わろてんか』(18)、NTV『奥様は、取り扱い注意』(17)、【舞台】『女の一生』(20)、『たかが世界の終わり』(20)、『ねじまき鳥クロニクル』(20)、『忘れてもらえないの歌』(19)、『美しく青く』(19)、NODA・MAP第22回公演『鷹作桜の森の満開の下』(18)、唐組30周年記念公演『吸血姫』(18)、『近松心中物語』(18)、百鬼オペラ『羅生門』(17)、妄想歌謡劇『上を下へのジレッタ』(17)、『遠野物語・奇ッ怪 其ノ参』(16)など他多数。



多田淳之介(演出家・東京デスロック主宰)

1976年生まれ。演出家。東京デスロック主宰。古典から現代戯曲、小説、詩、ネット上のテキストなど様々な題材から現代を生きる人々の当事者性をフォーカスし、舞台と客席の境界を無くすなどアクチュアルな場を創出する。文化施設や教育機関での子どもや演劇を専門としない人とのワークショップや創作、韓国、東南アジアとの海外コラボレーションも多数手がけ、演劇の持つ対話力・協働力を基にボーダーレスに活動する。2010年富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督に公立劇場演劇部門の芸術監督として国内歴代最年少で就任、ホール作品の創作、子供・市民向けプログラムを中心に3期9年間務める。2014年『가모메 칼메기』にて韓国の第50回東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞。東京芸術祭プランニングチームメンバー。APAFアジア舞台芸術人材育成部門ディレクター。青年団演出部。四国学院大学、女子美術大学非常勤講師。



西尾佳織(劇作家・演出家・鳥公園主宰)

劇作家、演出家、鳥公園主宰。1985年東京生まれ。幼少期をマレーシアで過ごす。東京大学にて寺山修司を、東京藝術大学大学院にて太田省吾を研究。2007年に鳥公園を結成以降、全作品の脚本・演出を担当。「正しさ」から外れながらも確かに存在するものたちに、少しトボけた角度から、柔らかな光を当てようと試みている。2014年『カンロ』にて第58回岸田國土戯曲賞に、2018年『ヨブ呼んでるよ』にて第62回岸田國土戯曲賞にノミネートされる。2016年日本演出者協会主催・若手演出家コンクールにて最優秀賞受賞。主な外部作品に、F/T14主催プログラム「透明な隣人〜8 エイトによせて〜」、SPACふじのくににせかい演劇祭2015「例えば朝9時には誰がルーム51の角を曲ってくるのかを知っていたとする」など。



ムーチョ村松(映像作家)

トーキョースタイル代表。1974年、静岡県生まれ。「フキコ・ソロ・アクト・ライブ」シリーズ、「Frame by Frame」(ロベール・ルパージュ 演出)、「日本の歴史」「愛と青春のシャーロックホームズ」(三谷幸喜 作演出)、大人計画、ジョビジョバ、阿佐ヶ谷スパイダース、城山羊の会、など数多くの演劇作品で、映像制作を手掛けている。最近ではカナダ・モントリオールのHUBスタジオと親密な交流を行っており、「NINJA」(森山開次演出)では、インタラクティブな映像演出にも取り組んでいる。



■市民審査員(公募) 10名の市民審査員が審査に参加しています。

「ちょうふアートプラス」会員募集中!

調布市民は入会金・年会費無料!
(調布市外在住の方は入会金無料・年会費1000円)
主催・提携公演、講座、体験、ワークショップなどのイベントの優先エンタリーや特別価格での購入ができるサービスです。詳しくは(ちょうふアートプラス事務局 042-481-7611)にお問い合わせください。

せんがわ劇場演劇コンクール歴代受賞団体

第1回〜3回までは、調布にちなんだテーマを持つコンクールとして実施していましたが、第4回からは、せんがわ劇場における次世代の舞台芸術活動者育成支援プログラムの出発点と位置づけ、コンクール後もファイナリストを支援するという、独自の特徴を持ったコンクールとなりました。

第1回 **グランプリ** トランジスタone『幸福の甘き香り』
 オーディエンス賞 たまご布林『空想石』

第2回 **グランプリ** 青春事情『You'll Never Walk Alone』
 オーディエンス賞 青春事情『You'll Never Walk Alone』
 FC東京賞(特別審査員賞) ZIPANGU Stage『青と赤のスタジアムで』

第3回 **グランプリ** キトキト企画『ヘソのゴマ、ゴマの星』
 オーディエンス賞 キトキト企画『ヘソのゴマ、ゴマの星』

第4回 **グランプリ** THEATRE MOMENTS『パニック』
 オーディエンス賞 THEATRE MOMENTS『パニック』
 脚本賞 待山佳成 (まごころ18番勝負『有限要素法の正しい使い方How To Use FEM,』)
 演出賞 佐川大輔 (THEATRE MOMENTS『パニック』)
 俳優賞 土橋建太 (第0楽章『怪火』)

第5回 **グランプリ** 劇団820製作所『踏みはずし(Retake)』
 オーディエンス賞 イマカラメガネ『心配な女』
 脚本賞 波田野淳紘 (劇団820製作所『踏みはずし(Retake)』)
 演出賞 波田野淳紘 (劇団820製作所『踏みはずし(Retake)』)
 俳優賞 洞口加奈 (劇団820製作所『踏みはずし(Retake)』)
 特別賞 劇団ポニーーズ (『HIPHOP町工場』)

第6回 **グランプリ** ドキドキぼーいず『闇』
 オーディエンス賞 劇団しようよ『こんな気持ちになるなんて』
 脚本賞 村田裕子 (LiveUpCapsules『ふみ』)
 演出賞 本間広大 (ドキドキぼーいず『闇』)
 俳優賞 chon-muop (『〇口なし』)

第7回 **グランプリ** 情熱のフラミンゴ『きれいなひかり』
 オーディエンス賞 ナイスコンプレックス『かげがふいた』
 脚本賞 島村和秀(情熱のフラミンゴ『きれいなひかり』)
 演出賞 村井 雄 (開幕ベナントレース『1969:A Space Odyssey? Oddity!』)
 俳優賞 MIKI the FLOPPY(情熱のフラミンゴ『きれいなひかり』)

第8回 **グランプリ** スペースノットブランク
『ラブ・ダイアログ・ナウ』
 オーディエンス賞 くちびるの会『プールサイドの砂とうた』
 演出家賞 深堀絵梨 (HOLIDAYS『ちゃぶ台』)
 劇作家賞 山下 由 (Pityman『そうをみにくる』)
 俳優賞 waqu:iraz (『closets』)

第9回 **グランプリ** パンチェッタ『Parsley』
 オーディエンス賞 パンチェッタ『Parsley』
 演出家賞 うえもとしほ (すこやかクラブ『遠くへ行きたい』)
 劇作家賞 山本正典 (コトリ会議『チラ美のスカート』)
 俳優賞 パンチェッタ (『Parsley』)
 特別賞 ゆうめい (『家を走る』)

第10回 **グランプリ** 公社流体力学
『美少女がやってくるぞ、ふるえて眠れ』
 オーディエンス賞 世界劇団『紅の魚群、海雲の風よ吹け』
 演出家賞 河井朗 (ルサンチカ『PIPE DREAM』)
 劇作家賞 綾門優季 (キュー『録調を録調』)
 俳優賞 公社流体力学a.k.a太田日曜

※第6回、第8回、第9回の俳優賞は劇団全体に対する賞として贈られました。

第11回 せんがわ劇場 演劇コンクール

せんがわ劇場
SENGAWA THEATER

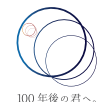
今回から“アフター・ディスカッション”を導入しました!
コミュニケーション増し増し

本城大造

主催:



調布市文化・コミュニティ振興財団
Foundation for the promotion of Chofu city's culture and community



助成:

文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会





調布市せんがわ劇場
演劇スーパーバイザー

小笠原響

せんがわ劇場にご来場いただき、ありがとうございます。
当館は開館以来、芸術家を目指す若者が才能を発揮し、観客と共感を分かち合う場を提供し続けてきました。
共感の場がことごとく制限され、一時は演劇そのものの在り方も問われる事態となりましたが、一年間開催を待ち続けた参加団体の皆さん、審査員の先生方、観客の皆さんの演劇に傾けた思いが集まって、再び「せんがわ劇場演劇コンクール」の幕が上がります。
若き才能が切磋琢磨して新たなステージを切り拓く、刺激溢れるコンクールとなりますよう、心から願っております。

演出家。俳優座、文学座で演技の基礎を学ぶ。その後舞台監督、演出助手をしながら多くの演出家と出会い、舞台演出の手法を体得。小さなスタジオ公演を中心に演出活動を始め、現在はフリーの演出家として活躍。俳優座、昴等の劇団公演や都内を中心としたプロデュース公演の演出を担当し、市民演劇・ミュージカルの演出も多数。日本演出者協会会員。2018年、読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。



調布市せんがわ劇場
演劇コンクール企画監修／
演劇事業外部アドバイザー

徳永京子

好きなこと。したいこと。必要なこと。全部がイコールでつながると、人はかなり幸せに生きられます。そしてそこから派生するものが、周囲の人達を幸せにしていきます。その可能性をゼロにせず、少しでも未来につなげていけるように。才能ある若い世代の活躍の機会をこうして用意できたことを本当にうれしく、ありがたく思います。ご協力、ご尽力いただいたすべての方にお礼申し上げます。好き、したい、必要それぞれの強度を高める場にしたいと思います。

演劇ジャーナリスト。雑誌、ウェブ、公演パンフレットを中心にインタビュー、作品解説、朝日新聞首都圏版に劇評を執筆。ローソンチケット演劇専門サイト「演劇最強論-ing」企画・監修・執筆。東京芸術劇場企画運営委員。バルテノン多摩企画アドバイザー。読売演劇大賞選考委員。著書に「我らに光を—さいたまゴールド・シアター蜷川幸雄と高齢者俳優41人の挑戦」、「演劇最強論」(藤原ちからと共著)、「『演劇の街』をつくった男—本多一夫と下北沢」。

□アンケートにご協力ください



PCから▶



スマホから▶

□エピソード募集

「あなたの思い出、舞台化させてくれませんか？」
60歳以上の方から、演劇作品の原作となるエピソードを募集しています！

募集期間 6/7(月)～6/27(日)

詳細はHPをご覧ください。



5.29 (土)

13:00

抗原劇場 アレルゲンシアター

『雨降らす巫女の定置網漁』

神奈川県

作/演出:
山田カイル



『ちはる』©江戸川カエル

抗原劇場が「劇団」になってから初めての新作です。
シン・抗原劇場といっても良いかもしれません。
嘘です。良くないです。
ごゆっくりお楽しみください。

【キャスト】
甘井 飴子 (抗原劇場)
塗堀 一海 (抗原劇場)
大谷 莉々
キヨスヨネスク

【スタッフ】
脚本・演出: 山田カイル
舞台監督: 斎藤穂
照明: 杉本奈月 (Nz / 青年団)
音響: 川崎理沙

5.30 (日)

11:30

劇団灰ホトラ

『列と野鳥』

群馬県

作/演出: 荒木聡志



『列と野鳥』(2018年)

浅はかな知見と場当たりの判断と精一杯の善性で自分達の中の「保守とリベラルのようなもの」を紙相撲させていく。
取り返しのつかない軽率を生きている。
空では風が鳥に列を作っている。

【キャスト】
新井和枝
境野友理奈
黒澤結衣
堀口美奈子
狩野遥

【スタッフ】
作・演出・音楽(音響): 荒木聡志
照明: 多賀谷明子
舞台監督: 高橋弘志

【今後の出演予定作品】

◆ 灰ホトラの小作品
死に至るかもしれない依存症の滑稽を描く『くじ引きの沼』
2021年秋上演予定

スタッフ

せんがわ劇場演劇スーパーバイザー: 小笠原響 / 演劇コンクール総合舞台監督: 廣瀬正仁 / 照明監修: 関定己 / 総合舞台監督助手: 制作統括補佐: 栗原秀一 / 制作助手: 櫻井拓見・一宮周平・深堀絵梨

14:30

ムニ

『真昼森を抜ける』

神奈川県

作/演出: 宮崎玲奈



『つかの間の道』©伊藤香奈

劇場は見えないもの、見えるものが溶け合っている場所なので「息づく」ということについて考えます。
沢山場所が出てくることも、ひとつの場所が続くこともできる空間で、境界をじわじわ超えられたらと思います！

【キャスト】
藤家矢麻刀
南風盛もえ (青年団)
【スタッフ】
脚本・演出: 宮崎玲奈
舞台監督: 蒼乃まを (青年団)
照明: 緒方稔記 (黒猿)
協力: 黒猿、青年団、ブリッシマ

【今後の出演予定作品】

◆ 青年団若手自主企画升味企画
『動ける/動けない 言える/言えないを考えるWS』メインファシリテーター
2021年10月11日(月)～24日(日) @アトリエ春風舎
◆ 青年団若手自主企画宮崎企画『東京の一日』
2021年12月16日(木)～26日(日) @アトリエ春風舎

16:00

ほろびて

『あるこくはく』

埼玉県

作/演出: 細川洋平



『ぼうだあ』©ほろびて

ファイナリストに選出いただき、また開催していただきありがとうございます。
いろいろな角度で演劇のことを考える1年でした。短い言葉では表せない声と、人の有り様を描けていればいいと思います。

【キャスト】
鈴政ゲン
橋本つむぎ
藤代太一
吉増裕士 (ナイロン100℃ / リボルブ方式)
【スタッフ】
脚本・演出・音楽: 細川洋平
舞台監督: 西廣奏
照明プラン: シバタユキエ
照明オペレーション: 渡邊綾人
音響: nujonoto

【今後の出演予定作品】

◆ 細川洋平脚本
さいたまネクスト・シアター最終公演
2021年8月5日(木)～15日(日) @彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
◆ ほろびて『タイトル未定』
2021年10月27日(水)～11月1日(月) @北千住BUoY

13:00

オパンポン創造社

『サンセット』

大阪府

作/演出: 野村有志



『サンセット』(2019年)

「今」、関西を拠点に活動する僕らが東京で上演する。
それだけで本作品を上演する意味がある。
この作品は僕や貴方の日常です。

【キャスト】
月村…野村有志
落合…川添公二
日野…飯嶋松之助

【スタッフ】
作・演出: 野村有志
舞台監督: 伊藤駿九郎 (KING&HEAVY / theatre PEOPLE PURPLE)
音響: 浅葉 修 (Chicks)
照明: 根来直義 (Top.gear)

15:00

表彰式 アフター・ディスカッション

15:00~16:45

演劇コンクール関連動画



◀ 演劇コンクールスピノフ企画
『映像と生で楽しむリーディング』



ムーチョ村松氏製作 ▶
“演劇コンクールをつなぐ映像”
～『The Interview in SENGAWA』～



◀ 『京子の部屋×公社流体力学』

『グランプリ受賞者座談会』
～チーフディレクターに色々聞いてみる～▶



◀ 【宣伝映像】公社流体力学

企画監修・演劇事業外部アドバイザー: 徳永京子 / せんがわ劇場演劇ディレクターチーム: 佐川大輔・柏木俊彦・栗原秀一・櫻井拓見
服部寛隆 / 劇場舞台技術スタッフ: (株)東京舞台照明 / 宣伝美術: (株)クリエイティブスタジオビュー / 舞台公演撮影: 松田文 / 舞台写真撮影: 青二才晃・松本一歩・佐川大輔 / 制作補助: 島村秀和・うえもとしほ・小林真梨恵・松田文 / せんがわ劇場制作係: 水野陽子・萩原景子